

2019年2月8日

上場会社名 原田工業株式会社
 コード番号 6904 URL <http://www.harada.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田 章二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合企画部長兼管理本部長 (氏名) 佐々木 徹

TEL 03-3765-4321

四半期報告書提出予定日 2019年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	32,169	1.0	1,259	23.1	1,024	41.7	829	19.6
2018年3月期第3四半期	31,839	6.6	1,637	7.0	1,757	28.7	1,031	12.8

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 671百万円 (0.3%) 2018年3月期第3四半期 669百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	38.14	
2018年3月期第3四半期	47.42	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	34,400	14,093	41.0	647.96
2018年3月期	34,330	13,639	39.7	627.09

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 14,093百万円 2018年3月期 13,639百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		10.00	10.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当7円50銭 記念配当2円50銭

2019年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当7円50銭

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	2.2	2,100	6.8	2,000	14.9	1,400	82.2	64.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	21,758,000 株	2018年3月期	21,758,000 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	7,102 株	2018年3月期	7,098 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	21,750,900 株	2018年3月期3Q	21,750,949 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

(日付の表示変更)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(四半期連結貸借対照表関係注記)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では設備投資の伸びは鈍化したものの、良好な雇用情勢の継続や個人消費の好調等により堅調に推移いたしました。欧州では雇用情勢は底堅く推移したものの、個人消費や輸出の減速等により景気は減速傾向で推移いたしました。アジアにおいては、中国では輸出は堅調に推移したものの個人消費は減速となり、アセアン地域においては、内需を中心とした堅調な景気が続いております。

日本国内経済につきましては、個人消費の持ち直しや雇用、所得情勢の堅調さを背景とした緩やかな回復が続いております。

当社グループの属する自動車業界におきましては、自動車の生産台数が北中米、欧州では減産となったものの、日本、アジアでは増産となり、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ増産となりました。

このような状況のもと、長期ビジョンである「HARADA NEXSTAGE 19」達成のための二つの柱である「競争の優位性の強化」と「最適企業基盤の確立」を目指し、各領域における施策を推進すると共に、これまで実施してまいりました「コスト構造改革」を継続して推進し、「材料費の削減」、「工場生産性の改革」等の諸施策に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、自動車生産台数の増加を背景とした拡販活動等により過去最高の321億69百万円（前年同期比1.0%増）となりました。利益面につきましては、販管費率は改善したものの売上原価率が上昇したことにより、営業利益は12億59百万円（同23.1%減）となりましたが、第2四半期連結会計期間以降の売上原価率は改善の傾向が続いております。また、経常利益は営業利益額の減少及び為替差損の計上等により10億24百万円（同41.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億29百万円（同19.6%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①日本

自動車生産台数の増加を背景とした拡販活動等により、外部売上高は114億55百万円（同8.9%増）、セグメント間の内部売上高は28億12百万円（同14.6%減）、営業利益は、売上高が増加し販管費率は改善したものの、売上原価率の上昇により6億円（同33.0%減）となりました。

②アジア

中国市場及びアセアン市場における自動車生産台数の増加及び拡販活動等により、外部売上高は85億21百万円（同0.1%増）、セグメント間の内部売上高は99億71百万円（同0.2%増）、営業利益は2億9百万円（同32.8%減）となりました。

③北中米

北米市場における自動車生産台数の減少等により、外部売上高は92億65百万円（同4.0%減）、セグメント間の内部売上高は67百万円（同26.1%増）、営業利益は2億51百万円（同30.5%減）となりました。

④欧州

欧州市場における外部売上高は29億27百万円（同7.3%減）、セグメント間の内部売上高は6億59百万円（同21.8%増）、営業利益は売上原価率の改善により1億57百万円（同272.6%増）となりました。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

（2）財政状態に関する説明

当社グループは財務体質の改善目標として営業利益率など収益性の改善ももちろんのことですが、当社グループの課題である経営の安全性を高めるため、有利子負債の削減、たな卸資産の圧縮、自己資本の充実等に努めてまいりました。この結果、次のとおりの財政状態となりました。

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は263億88百万円（前連結会計年度末265億62百万円）となり、1億74百万円減少いたしました。これは主に「商品及び製品」が3億48百万円、「受取手形及び売掛金」が2億22百万円、「仕掛品」が1億12百万円増加し、「現金及び預金」が12億7百万円減少したことによるものであります。固定資産は80億12百万円（前連結会計年度末77億67百万円）となり、2億44百万円増加いたしました。これは主に「投資その他の資産」が1億11百万円、「有形固定資産」が1億7百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は344億円（前連結会計年度末343億30百万円）となり、70百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は188億14百万円（前連結会計年度末186億28百万円）となり、1億86百万円増加いたしました。これは主に「未払法人税等」が6億71百万円減少し、「短期借入金」が4億33百万円、「1年内返済予定の長期借入金」が4億7百万円、「支払手形及び買掛金」が3億38百万円増加したことによるものであります。固定負債は14億92百万円（前連結会計年度末20億62百万円）となり、5億70百万円減少いたしました。これは主に「長期借入金」が5億円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は203億7百万円（前連結会計年度末206億90百万円）となり、3億83百万円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は140億93百万円（前連結会計年度末136億39百万円）となり、4億53百万円増加いたしました。これは主に「為替換算調整勘定」が1億53百万円減少し、「利益剰余金」が6億12百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期通期の連結業績予想につきましては、2018年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,616,296	6,408,585
受取手形及び売掛金	8,039,027	8,261,302
商品及び製品	5,021,495	5,370,076
仕掛品	647,985	760,175
原材料及び貯蔵品	4,444,457	4,449,180
その他	814,547	1,157,192
貸倒引当金	△21,181	△18,105
流動資産合計	26,562,627	26,388,407
固定資産		
有形固定資産	5,071,120	5,178,180
無形固定資産	337,030	363,176
投資その他の資産	2,359,703	2,470,979
固定資産合計	7,767,855	8,012,335
資産合計	34,330,483	34,400,743
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,242,114	3,580,212
電子記録債務	701,798	890,300
短期借入金	10,420,003	10,853,254
1年内返済予定の長期借入金	112,500	520,000
未払法人税等	2,052,388	1,381,083
賞与引当金	323,342	274,756
役員賞与引当金	41,875	25,125
その他	1,734,267	1,290,032
流動負債合計	18,628,288	18,814,763
固定負債		
長期借入金	1,500,000	1,000,000
退職給付に係る負債	167,702	141,011
その他	394,690	351,330
固定負債合計	2,062,392	1,492,341
負債合計	20,690,681	20,307,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,181	2,019,181
資本剰余金	1,859,981	1,859,981
利益剰余金	9,455,477	10,067,491
自己株式	△2,343	△2,346
株主資本合計	13,332,297	13,944,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,082	18,708
為替換算調整勘定	379,882	226,022
退職給付に係る調整累計額	△103,461	△95,400
その他の包括利益累計額合計	307,504	149,329
純資産合計	13,639,801	14,093,637
負債純資産合計	34,330,483	34,400,743

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	31,839,378	32,169,607
売上原価	23,884,647	24,773,782
売上総利益	7,954,730	7,395,825
販売費及び一般管理費	6,317,079	6,136,804
営業利益	1,637,650	1,259,020
営業外収益		
受取利息	9,885	33,512
為替差益	98,714	—
受取保険金	65,742	—
その他	78,375	89,129
営業外収益合計	252,718	122,642
営業外費用		
支払利息	118,326	145,603
為替差損	—	205,675
その他	14,327	5,918
営業外費用合計	132,654	357,197
経常利益	1,757,715	1,024,465
特別利益		
固定資産売却益	4,439	137,947
特別利益合計	4,439	137,947
特別損失		
固定資産除却損	7,097	12,645
その他	9,000	1,326
特別損失合計	16,097	13,972
税金等調整前四半期純利益	1,746,057	1,148,440
法人税、住民税及び事業税	723,346	477,949
法人税等調整額	△8,786	△159,031
法人税等合計	714,559	318,918
四半期純利益	1,031,497	829,522
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,031,497	829,522

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	1,031,497	829,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,379	△12,374
為替換算調整勘定	△384,385	△153,860
退職給付に係る調整額	8,007	8,060
その他の包括利益合計	△361,999	△158,174
四半期包括利益	669,498	671,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	669,498	671,348
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係注記)

偶発債務（移転価格税制関係）

当社の連結子会社である大連原田工業有限公司は、当社及び当社の連結子会社との取引に関し、中国税務当局による移転価格税制に係る調査を受けており、当社は現時点で発生の可能性が高いと予想される追徴税の負担見込額を未払法人税等として計上しております。現時点においては、調査の最終的な結果を得ておらず、当社が見積り計上した金額以上の負担の有無及びその金額は今後の交渉状況等によることとなります。

（セグメント情報）

I 前第3四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	10,522,778	8,510,361	9,647,304	3,158,934	31,839,378	-	31,839,378
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,294,739	9,956,125	53,793	541,427	13,846,086	△13,846,086	-
計	13,817,518	18,466,487	9,701,097	3,700,361	45,685,464	△13,846,086	31,839,378
セグメント利益	894,975	311,322	361,261	42,363	1,609,923	27,727	1,637,650

（注） 1. セグメント利益の調整額27,727千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	11,455,694	8,521,543	9,265,046	2,927,322	32,169,607	-	32,169,607
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,812,698	9,971,435	67,821	659,646	13,511,602	△13,511,602	-
計	14,268,393	18,492,979	9,332,868	3,586,968	45,681,210	△13,511,602	32,169,607
セグメント利益	600,069	209,206	251,192	157,854	1,218,322	40,698	1,259,020

（注） 1. セグメント利益の調整額40,698千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。